

赤庫里湖(一名博斯騰淖爾)に滙す。河幅は平均二百尺乃至三百尺なるも、喀喇沙爾渡場は約一千尺に及べり。河身淺きは三四尺とし、河中魚類多く、潑刺波間に躍る然れども其の流域に住む蒙古人、回部人は共に魚類を食せざるに因り魚撈するは只僅に支那本部より移住せし少數漢人のみなり。

三流水源の河谷は、一般に高原を成形し、良好の牧草生ひ茂りて、吐爾扈特族の遊牧場たり。三川相合一して後の開都河沿岸は、漸く廣漠無邊の大平地、而も喀喇沙爾地方に至りては、大小溝渠、縱横に錯綜し、河水灌溉の利便甚大なるに因り、隨處耕地多く、水田火田の間、一望千里、眼界轉た快濶を覺ゆ。

一たび巴格喇赤庫里湖に注ぎたる開都河は、再び其の西南より流出し、濁流變じて澄流と爲り。直に西して哈爾阿滿山を貫き、更に南下庫爾勒を過ぎ、東南に屈拆して塔里木河に入る。下流部は幅五十尺乃至七十尺、水深十尺乃至十四尺、尙ほ之より深き處ありといふ。

其の哈爾阿滿山に入るや、山間三里、狹隘なる峽谷を成し、此の峽中を流るゝ水は兩岸に亂立する怪石奇岩に觸れ、或は旋流渦を生じ、或は飛沫霧を起し、流勢急疾、鞆